

## ▼ザロンチンシロップ [内]

【重要度】 【一般製剤名】 エトスクシミド Ethosuximide 【分類】 抗てんかん剤 [欠神・運動発作]

【単位】 ▼5%シロップ

【常用量】 ■成人：0.45～1.0g/日 ■小児0.15～0.6g/日

【用法】 1日1～3回

【透析患者への投与方法】 常用量をHD後に投与 (12) 【PD】 減量の必要なし (12)

【保存期CKD患者への投与方法】 GFR>10mL/min：減量の必要なし，GFR<10mL/min：75%に減量 (12)

【特徴】 コハク酸イミドの誘導体で主に小発作（欠神発作）の治療に適用される。

【主な副作用・毒性】 SJS, 再生不良性貧血, 血球減少, 過敏症, 眠気, めまい, 運動失調, 消化器症状など

【F】 不明 (1)

【tmax】 1～7hr (1)

【代謝】 主にCYP3A4で代謝 (1) 主代謝物はヒドロキシエチル誘導体で、そのままもしくはグルクロン酸抱合体として尿中に排泄 (1) 主代謝物に活性はない (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率25% (1) 17～40% (12) 【CL】 0.008±0.002 L/hr/kg (1)

【t1/2】 小児：33hr, 成人：60hr (1) 35～55hr (12) 腎不全時も同じ (12)

【蛋白結合率】 ほとんど結合しない (1) 5%未満 (12)

【Vd】 0.7L/kg (1) 0.6～0.9L/kg (12)

【MW】 141.17

【透析性】 HD除去率84.9% (1)

【O/W係数】 資料なし (1) 【pKa】 9.3 【TDMのポイント】 有効血中濃度40～100μg/mL (1)

【相互作用】 カルバマゼピン, ルフィナミドにより本剤の血中濃度が低下することがある (1)

【更新日】 20210719

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。